

中央教育審議会生涯学習分科会
「学習成果の評価の在り方に関する作業部会」第2回

検討資料補足資料

平成18年10月31日(火)

文部科学省ホームページにおける登録生涯学習制度(仮称)の プラットフォームイメージ <各資格の詳しい情報>

実用英語技能検定(1級)	
資格概要	<p>「実用英語」の公式な定義は、「日常の社会生活に必要な英語」となっています。英検は、「聞く・話す・読む・書く」の4技能を、基礎知識から運用能力まで総合的に測るよう構成されていますから、英検が検定する英語は、「状況などに応じて適切にコミュニケーションができる、一般的・総合的な英語」と言えます。</p> <p>試験は、初歩段階の5級からネイティブ・スピーカーに準ずる1級までの7つの級に分かれています。各級の程度・領域・内容は「実用英語技能審査基準」に規定されており、試験問題はこの審査基準にもとづいて作られます。</p>
受験資格	特に制限なし。
試験内容	<p>「聞く・話す・読む・書く」の4技能を、それぞれの級に応じた方法で試験します。「審査基準」では、測定領域として「聞く・話す」がすべての級で最初の項目に位置づけられ、筆記試験に加えて、すべての級でリスニングテストを、3級以上では面接形式によるスピーキングテストを実施し、それぞれの技能を直接測定しています。</p> <p>一級は、広く社会生活で求められる英語を十分に理解し、また使用することができる程度を想定。具体的には、社会性の高い幅広い分野の文章を読んで理解し、内容を聞いて理解し、話題について話し、まとまりある文章を書くことができる程度。</p>
資格取得者優遇制度等	単位認定／入試優遇／教員採用試験一部免除／留学資格／
後援等	文部科学省、47都道府県教育委員会、石川県金沢市／京都府京都市／広島県広島市／福岡県福岡市・北九州市／熊本県熊本市
問い合わせ先	<p>財団法人 日本英語検定協会 〒162-8055 新宿区横寺町55番地 TEL:03-3266-6555(代) http://www.eiken.or.jp/index.html</p>

【参考】当該生涯学習提供主体(日本英語検定協会)
のホームページでは、以下のような情報も提供している。

単位認定校数(2006年3月末現在)			
学校区分	H16年度	H17年度	H18年度
大学	205	221	242
短期大学	68	75	68
高等専門学校	44	47	47
高等学校	754	743	871

2006年入試／英検資格の入試優遇校数							
学校区分	一般・推薦	出願条件	出願優遇	学科試験 免除	点数加算	判定優遇	その他
大学 350校 (国立9・公立15・私立326)	一般—51(2) 推薦—299(13)	9 181	— 39	8 10	11 90	24 65	6 56
短大 183校 (公立6・私立177)	一般—44(3) 推薦—139(8)	1 34	— 19	12 9	12 43	19 47	2 19
高専 8校 (国立7・私立1)	一般—1(1) 推薦—7(1)	— —	— —	1 —	— 4	— 2	— 1
公立高校 341校	一般—151(63) 推薦—190(96)	1 19	— 3	— —	60 56	74 86	19 26
私立高校 391校	一般—135(12) 推薦—256(25)	2 37	22 101	7 11	48 63	59 75	12 23